

# モニタリング計画(案) ※「第8回駿河海岸保全検討委員会」資料抜粋

## ■今後のモニタリング内容

- ・ 深浅測量と数値シミュレーションによる予測断面との比較を基本とし、予測どおりに海浜断面の維持・回復がなされているかを確認する。予測と実測に乖離が生じた場合には再度検証・予測計算を実施し、予測精度の向上を図る。
- ・ 将来、山地河道流域の粗粒化等の影響により、大井川からの流出土砂量の減少が予測されていることから、上記のモニタリングに加えて、河口テラスの変化状況についても経年的にモニタリングする。
- ・ 簡易で高精度なモニタリング方法の活用を検討する（例えば、CCTVによる定量的な浜幅の確認等）。

年度	調査	検討	備考
定常	海象観測	波高・波向、風速・風向等	
2018 (H30)	定期深浅測量 CCTV	測量と予測計算結果の比較 高波浪前後の砂浜の状況確認	汀線位置、浜幅、断面形状、（河口テラスをモニタリング）
2019 (H31)	定期深浅測量 CCTV	測量と予測計算結果の比較 高波浪前後の砂浜の状況確認	//
・・・	・・・	・・・	・・・
H37	定期深浅測量 CCTV 底質調査	測量と予測計算結果の比較 高波浪前後の砂浜の状況確認	【中間評価】 予測から10年後
・・・	・・・	・・・	・・・
H47	定期深浅測量	測量と予測計算結果の比較	【評価】 事業完了予定年度
・・・			
H57	定期深浅測量	測量と予測計算結果の比較	事後検証

※上記に加えて数年に一回の頻度で空中写真を撮影